

(様式8)

重要度 低 高

機能要件表

1  10

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
1-1	移行要件	移行時URLが切り替わる場合は、主要な(※)ページについてリダイレクト設定を行うこと。※移行時までの1年間のアクセス数に基づき、上位2,000ページとするが、標準対応として全ページ対応できる場合は自由記述欄に記載のこと。	6		
1-2	移行要件	公開ページ約10,000ページのうち、市議会会議録ページ(約1,800ページ)を除く、約8,200ページの移行を行うこと。	必須		
1-3	移行要件	現行CMSに保存されているファイル(PDF, Excel, jpg等)の約80,000件の移行を行うこと。またそれらが浮遊ファイルでない場合は、各ページとの関連性に基づき、所管課毎のフォルダに振り分けること。	必須		
1-4	移行要件	ページ及びファイル移行後の検証作業を行うこと。テスト計画書及びチェックリストを作成し、事前に提供すること。また結果はテスト結果報告書として提出すること。	必須		
1-5	移行要件	移行ページはアクセシビリティチェック(JIS X 8341-3:2016)を行い、問題のあるページについては修正作業を行うこと。適合レベルはAA準拠とする。 【対象範囲】 市川市公式Webサイト (https://www.city.ichikawa.lg.jp/ / ドメイン配下) 【例外事項】 ・ https://www.city.ichikawa.lg.jp/common/ / 以下のファイル ・ PDF、Excel、Wordなどの文書ファイル ・ 音声コンテンツ及び、動画コンテンツ及び、それを含むページ ・ 地図 ・ 外部から提供されているサービス及び、付随するページ ・ 広告であることを明示して提供しているバナー広告画像	必須		
1-6	移行要件	リニューアル後のサイトはレスポンス対応とし、各種デバイスで最適な表示とすること。利用者のデバイス傾向について最新の調査から分析し、最適なブレイクポイントを2か所以上設けること。	必須		
1-7	移行要件	別添1のページ及びその配下のページについては、特設サイトとして管理できるように移行すること。特設サイトとは、異なるヘッダーデザインやメニュー構成などが特設サイト内の各ページにも共通して表示されるページグループを指す。	必須		
1-8	移行要件	特設サイトには開館日などをカレンダー表示する機能を持たせること。またそのカレンダーは職員が容易に更新し、タイムリーに公開できるものとする。	6		
2-1	基本要件	CMSの開発元がヘルプデスク窓口を有する製品であること。	10		
2-2	基本要件	セキュリティ対策、改ざん防止等を考慮し、開発メーカーの公式サポートを受けることのできる保証がされたものであること。	10		
2-3	基本要件	クラウド型(ASP/SaaS方式)のCMSであること。	必須		
2-4	基本要件	LGWAN回線から利用できるLGWAN-ASPサービスに対応したCMSであること。	6		
2-5	基本要件	コンテンツ作成・管理画面とも本市の内部情報システムから閲覧・操作でき、Microsoft Edge及びGoogle Chromeから閲覧・操作できること。	10		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
2-6	基本要件	CMS利用にあたって、各職員のクライアント端末に特別なアプリケーションなどをインストールすることなく、本市の内部情報システムから利用できること。	10		
2-7	基本要件	CMSの利用にあたって、端末台数やユーザー数、ページ数やテンプレート数の増加により、ライセンス料が変動しないこと。	6		
2-8	基本要件	生成されるコンテンツデータ（ページ）については、HTML living Standardの規格に準拠し、Web標準に配慮した文書構造を持つこと。また、アクセシビリティツールによる、コンテンツの音声読み上げ機能に対応していること。	必須		
2-9	基本要件	UTF-8の文字コードに対応すること。	必須		
2-10	基本要件	常時SSL（全ページhttps化）を行うこと。	必須		
2-11	基本要件	公開画面は、動的な機能を用いなければ表現できない特殊な挙動のページを除き、静的なHTMLであること。	10		
2-12	基本要件	コンテンツが存在しないページへアクセスした場合、案内ページを表示すること。	10		
2-13	基本要件	閲覧者が画面をA4縦型で印刷する際、ブラウザやOSに関わらず内容が損なわれずに印刷できること。	10		
2-14	基本要件	CMSサーバの停止により、Webサーバの公開に影響がないこと。	必須		
2-15	基本要件	ユーザーがストレスを感じない応答時間であること。	必須		
2-16	基本要件	ホームページにアクセスが集中し、ホームページが閲覧しづらい状況となっても、CMSへのログイン、更新に支障なく操作できること。	必須		
2-17	基本要件	ホームページにアクセスが集中し、ホームページが閲覧しづらい状況となっても、CMSからホームページへのアップロードが正常に行えること。	必須		
3-1	ページ作成編集要件	職員がHTML言語を意識することなく、Webページの編集ができること。	必須		
3-2	ページ作成編集要件	ページを複製し、それを基に新たなページを作成できること。	10		
3-3	ページ作成編集要件	登録したコンテンツについて、登録した者以外のユーザーの利用を許可するか指定できること。	6		
3-4	ページ作成編集要件	登録した者以外のユーザーが作成したコンテンツを引用できること。また、引用元のページが更新された際に編集者に通知されること。	6		
3-5	ページ作成編集要件	作成途中のページを一時保存し、再ログイン後に作業を再開できること。	必須		
3-6	ページ作成編集要件	スペルチェックができること。	4		
3-7	ページ作成編集要件	作成したページにはページIDが自動付与され、利用者がページIDによる検索を行えるようにすること。	10		
3-8	ページ作成編集要件	作成したページの下部に作成者の情報（課・係名、電話番号等）が自動で表示されること。また、作成者の情報を変更した場合は、公開中のページの当該情報も自動で更新されること。	10		
3-9	ページ作成編集要件	作成したページの下部に複数の作成者の情報を並列で表示できること。	6		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
3-10	ページ作成編集要件	SEOに配慮するため、作成者がメタタグを設定できること。	10		
3-11	ページ作成編集要件	ページをCSVファイルでインポート・エクスポートできる機能があること。	7		
3-12	ページ作成編集要件	コンテンツの世代管理ができ、過去のコンテンツを復元できること。	10		
3-13	ページ作成編集要件	ページのURL（ファイル名）が自動的に生成され、必要な際は自らファイル名を設定できること。	7		
3-14	ページ作成編集要件	同一のファイル名が存在する場合、上書を防ぐためエラーメッセージを表示した上で作業完了できないようにできること。	10		
3-15	ページ作成編集要件	作成途中のページであっても、事前にURLを把握できること。	必須		
3-16	ページ作成編集要件	行政手続の案内やイベント情報等、状況に応じたページテンプレートが選択できること。	6		
3-17	ページ作成編集要件	Wordデータを取り込み、自動的にHTMLデータに変換できること。その際、Word上で設定された見出しスタイルやリスト情報、揃え位置などをHTMLスタイル上に反映できること。	2		
3-18	ページ作成編集要件	Word、Excelデータをコピー&ペーストできること。その際、アプリケーション特有のHTML（CSS）表現を自動的に削除できること。	6		
3-19	ページ作成編集要件	Microsoft Word・Excelで作成した表をコピー&ペーストにより転用でき、その際、アプリケーション固有のタグは自動で削除されること。	6		
3-20	ページ作成編集要件	HTMLを直接編集することなく、h要素、p要素、ul・ol・li要素等の構造化要素を付加できること。	10		
3-21	ページ作成編集要件	全ページを対象として、文字列の検索及び置換ができること。	6		
3-22	ページ作成編集要件	簡単な操作で表が作成でき、作成した表の幅や高さ調整、行列の追加、削除が行えること。	10		
3-23	ページ作成編集要件	Microsoft Word・Excelで作成した表を転用した表の幅や高さ調整、行列の追加、削除が行えること。	8		
3-24	ページ作成編集要件	Microsoft Word・Excelで作成した表を転用した際、ページに対する割合の設定にて表示ができること。	8		
3-25	ページ作成編集要件	表のcaption要素やth要素について、HTMLを直接編集することなく設定できること。	8		
3-26	ページ作成編集要件	画像ファイルをドラッグ&ドロップ等の簡易な操作でアップロードし添付できること。	6		
3-27	ページ作成編集要件	画像ファイルをアップロードする際、コンテンツ編集画面においてトリミングやリサイズ等の編集が行えること。	6		
3-28	ページ作成編集要件	画像ファイルをアップロードする際、管理者が設定した任意のサイズより大きい場合、自動でリサイズされること。	6		
3-29	ページ作成編集要件	画像ファイルの配置位置（左・中央・右）を指定できること。	6		
3-30	ページ作成編集要件	画像ファイルに対しテキストの回り込み指定ができること。	6		
3-31	ページ作成編集要件	jpg、gif、pngなどの画像、PDF、Excel、Word、js、cssなどのファイル（以下「添付ファイル」という。）を登録、管理できること。	必須		
3-32	ページ作成編集要件	添付ファイルをドラッグ&ドロップ等の簡易な操作でアップロードし添付できること。	6		
3-33	ページ作成編集要件	添付ファイルをアップロードする際、プロパティ情報が自動で削除されること。	2		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
3-34	ページ作成編集要件	添付ファイルをアップロードする際、ファイル名は10桁以上の数字が自動採番されること。また、必要な場合は自らファイル名を設定できること。	4		
3-35	ページ作成編集要件	添付ファイルを添付した場合、自動的にファイル形式をアイコン等(文字列も含む)で表示し、あわせてファイル容量を表示すること。	7		
3-36	ページ作成編集要件	PDFファイルをアップロードした場合、Adobe Readerダウンロードページへのリンクを自動的に表示すること。また、PDFファイルのリンクを削除した際は、Adobe Readerダウンロードページへのリンクも自動で削除されること。	5		
3-37	ページ作成編集要件	内部及び外部リンクが設定できること。	10		
3-38	ページ作成編集要件	内部リンクは一覧等からリンク先を選択し設定できること。	8		
3-39	ページ作成編集要件	外部リンクを作成した際に、「外部リンク」等の文言を自動で表示すること。	5		
3-40	ページ作成編集要件	外部リンクは別ウィンドウで開くよう設定できること。	8		
3-41	ページ作成編集要件	リンクを別ウィンドウで開くよう設定した場合、リンク文字列の末尾に「新しいウィンドウで開きます」等の文言が自動で表示されること。	8		
3-42	ページ作成編集要件	リンク先の実体がない場合、アラートを表示する等とともにページ編集を完了できないようにすること。	2		
3-43	ページ作成編集要件	各ページに関連のあるコンテンツを「関連情報」として所定の位置にリンク付きで表示できること。	6		
3-44	ページ作成編集要件	コンテンツを削除した場合、当該コンテンツへリンクを行っているコンテンツのリンク切れの警告を表示すること。	5		
3-45	ページ作成編集要件	Webページ編集時にカテゴリを事前に指定しておくことができること。	10		
3-46	ページ作成編集要件	1つのコンテンツについて複数のカテゴリが設定できること。	7		
3-47	ページ作成編集要件	Webページ内に地図情報をiframeなどにより埋め込むことができること。	必須		
3-48	ページ作成編集要件	YouTubeの動画埋め込みができること。	必須		
3-49	ページ作成編集要件	Facebookやtwitterなどの外部サービスをiframeなどにより表示できること。	6		
3-50	ページ作成編集要件	コンテンツの公開イメージのプレビュー表示ができること。	10		
3-51	ページ作成編集要件	PC、スマートフォンのプレビュー表示ができること。	10		
3-52	ページ作成編集要件	コンテンツの公開イメージを印刷できること。	10		
3-53	ページ作成編集要件	ページ作成時に、指定する新着情報エリア(トップページ、所属トップページ、カテゴリトップページ、特設サイトトップページなど)へ掲載の有無を設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。	必須		
3-54	ページ作成編集要件	トップページに自動表示される新着情報の件数を、システム構築時に任意に設定できること。	6		
3-55	ページ作成編集要件	トップページに自動表示しきれない新着情報は、新着情報一覧ページに別途表示できること。	10		
3-56	ページ作成編集要件	新着情報一覧ページに表示する件数と表示範囲(入力された日数以内に公開されたページを対象範囲とする)をシステム構築時に任意に設定できること。	6		
3-57	ページ作成編集要件	新着情報に表示するタイトルを、ページのタイトルとは異なる設定ができること。	2		
4-1	チェック・管理機能要件	閲覧者がページの操作をキーボードのみで行えること。	10		
4-2	チェック・管理機能要件	閲覧者がページの表示サイズを変更できること。	必須		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
4-3	チェック・管理機能要件	ページがスクリーンリーダーに対応していること。	必須		
4-4	チェック・管理機能要件	画像挿入時にalt属性を付与・代替テキストの有無等をチェックし、警告を表示した上でページ作成を完了しないようにすることができること。 また、管理者によって警告の表示等を変更できること。	6		
4-5	チェック・管理機能要件	画像挿入時に色覚障害を考慮し十分なコントラストで表示されるどうかチェックし、警告を表示した上でページ作成を完了しないようにすることができること。 また、管理者によって警告の表示等を変更できること。	6		
4-6	チェック・管理機能要件	画像挿入時に色覚障害を考慮し十分なコントラストで表示されるどうかチェックし、推奨表示に変換できる機能を有すること。 また、管理者によって推奨表示の項目の設定変更が可能であること。	2		
4-7	チェック・管理機能要件	日付、時間等表記の表示等をチェックし、警告の表示や作成に制限を設けることが可能であること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。	10		
4-8	チェック・管理機能要件	日付、時間等表記の表示等をチェックし、推奨表示に変換できる機能を有すること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。 (例：2015/4/1(木) → 2015年4月1日(木曜日)、10:10→10時10分)	6		
4-9	チェック・管理機能要件	全角英数字チェック・半角英数字の表示等をチェックし、警告の表示や作成に制限を設けることが可能であること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。	10		
4-10	チェック・管理機能要件	全角英数字チェック・半角英数字の表示等をチェックし、推奨表示に変換できる機能を有すること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。 (例：A→A、1→1)	6		
4-11	チェック・管理機能要件	機種依存文字の表示等をチェックし、警告の表示や作成に制限を設けることが可能であること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。	10		
4-12	チェック・管理機能要件	機種依存文字の表示等をチェックし、推奨表示に変換できる機能を有すること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。 (例：①→1、(株)→(株))	6		
4-13	チェック・管理機能要件	不要な全角スペースの表示等をチェックし、警告の表示や作成に制限を設けることが可能であること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。	10		
4-14	チェック・管理機能要件	不要な全角スペースの表示等をチェックし、推奨表示に変換できる機能を有すること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。 (例：市川市 広報広聴課 → 市川市広報広聴課)	6		
4-15	チェック・管理機能要件	JIS X8341-3に示されたアクセシビリティ要件に則り、HTMLタグ指定 (alt属性などの有無) に関する問題の有無を機械的にチェックし、警告の表示や作成に制限を設けることが可能であること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。	10		
4-16	チェック・管理機能要件	JIS X8341-3に示されたアクセシビリティ要件に則り、HTMLタグ指定 (alt属性などの有無) に関する問題の有無を機械的にチェックし、推奨表示に変換できる機能を有すること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。	6		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
4-17	チェック・管理機能要件	意味のない装飾文字の表示等をチェックし、警告の表示や作成に制限を設けることが可能であること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。 (■、●、★、～など)	10		
4-18	チェック・管理機能要件	意味のない装飾文字の表示等をチェックし推奨表示に変換できる機能を有すること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。 (■、●、★、～など)	6		
4-19	チェック・管理機能要件	本市で指定する文字表記について検知し、警告の表示や作成に制限を設けることが可能であること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。 ・本市指定文字表記(例:子供→子ども、障害者→障害者)のチェック	7		
4-20	チェック・管理機能要件	本市で指定する文字表記について検知し変換できる機能を有すること。 また、管理者によって項目の追加・警告や変換の設定変更が可能であること。 (用語辞書の作成など) ・本市指定文字表記(例:子供→子ども、障害者→障害者)のチェック・変換	2		
4-21	チェック・管理機能要件	背景色と文字色の組み合わせが、色覚障害を考慮し十分なコントラストで表示されるどうかチェックし、警告の表示や作成に制限を設けることが可能であること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。	6		
4-22	チェック・管理機能要件	背景色と文字色の組み合わせが、色覚障害を考慮し十分なコントラストで表示されるどうかチェックし、推奨表示に変換できる機能を有すること。 また、管理者によって表示の有無や内容などの変更が可能であること。	2		
4-23	チェック・管理機能要件	プレビュー画面で、音声読み上げでどのように読まれるか確認が可能であること。	2		
4-24	チェック・管理機能要件	プレビュー画面で、色覚障害を考慮されているか確認が可能であること。	2		
4-25	チェック・管理機能要件	コンテンツの公開開始日時及び公開終了日時を設定(15分単位以内)できること。	10		
4-26	チェック・管理機能要件	日時を指定しないコンテンツの場合は、即時公開の設定ができること。	6		
4-27	チェック・管理機能要件	公開期間を無期限とする設定ができること。	6		
4-28	チェック・管理機能要件	管理者が行政手続やイベント等のテンプレートごとに公開終了日時の設定を必須とするか選択できること。	2		
4-29	チェック・管理機能要件	コンテンツの公開・非公開が失敗した場合、作成者へ警告する機能があること。	6		
4-30	チェック・管理機能要件	公開終了時にHTMLファイル及びどこからも参照されなくなった添付ファイルを検出することができること。	2		
4-31	チェック・管理機能要件	コンテンツの一括公開ができること。	7		
4-32	チェック・管理機能要件	コンテンツの一括削除ができること。	7		
4-33	チェック・管理機能要件	管理者が全てのコンテンツを承認ルートによらず即時公開・削除できること。	10		
4-34	チェック・管理機能要件	作成者と承認者からなる承認ルートが作成できること。	10		
4-35	チェック・管理機能要件	一覧・検索結果、ページ編集画面で承認状況のステータスが確認できること。	7		
4-36	チェック・管理機能要件	承認時に作成者から承認者へのコメントを入力できること。	5		
4-37	チェック・管理機能要件	承認ルートは作成者と承認者の1対1とは限らず、1承認者に複数の作成者が結びつく、または1作成者に複数の承認者が結びつく承認ルートの設定ができること。	5		
4-38	チェック・管理機能要件	承認ルートについては、1段階から4段階(主幹→課長→次長→部長)までの決裁者設定ができること。	5		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
4-39	チェック・管理機能要件	代理の承認者IDを設定できること。	5		
4-40	チェック・管理機能要件	コンテンツの内容によって承認ルートを変更できること。	4		
4-41	チェック・管理機能要件	承認者が画面でコンテンツの公開イメージやリンク等が確認できること。	10		
4-42	チェック・管理機能要件	承認者が修正作業を行えること。	10		
4-43	チェック・管理機能要件	複数のコンテンツを作成した場合、効率的に承認できること。	3		
4-44	チェック・管理機能要件	管理者が必要に応じて承認ルートを変更できること。	8		
4-45	チェック・管理機能要件	承認者が承認依頼を差し戻しできる機能があること。また、差し戻しの際にコメントを付記できること。	10		
4-46	チェック・管理機能要件	作成者が承認依頼を引き戻しできる機能があること。	6		
4-47	チェック・管理機能要件	作成者がページの承認依頼を行った際、承認者へメールで通知されること。	6		
4-48	チェック・管理機能要件	通知メールの文面は管理者が変更可能とすること。また、承認者が承認ページに直接アクセスできるURLをメール本文に記載できること。	3		
4-49	チェック・管理機能要件	承認者がページを承認した際、作成者へメールで通知されること。	2		
4-50	チェック・管理機能要件	担当課内の全てのコンテンツの状況（作成中・承認待ち・公開中・非公開）を一覧表示することができ、作成者及び承認者が状況を把握できること。	8		
4-51	チェック・管理機能要件	権限によっては承認を必要とせず即時公開可能な承認ルートを設定できること。	6		
4-52	チェック・管理機能要件	承認ルートの進捗状況を作成者が確認できること。	10		
4-53	チェック・管理機能要件	ページの最終更新日が自動で表記されること。	2		
4-54	チェック・管理機能要件	管理者がテンプレートを追加、変更、削除できること。	7		
4-55	チェック・管理機能要件	管理可能なテンプレート数に上限がないこと。	7		
4-56	チェック・管理機能要件	サイトの利用ガイド・著作権・セキュリティ・免責事項・個人情報利用規定等を掲載したページへのリンクが全てのテンプレートで表示されること。	5		
4-57	チェック・管理機能要件	コンテンツの表示は全てスタイルシートで制御すること。	6		
4-58	チェック・管理機能要件	テキスト色・サイズ・フォントの設定について、あらかじめ使用可能な種類を管理者が設定し、作成者がその中から選択できること。	6		
4-59	チェック・管理機能要件	背景色の設定について、あらかじめ使用可能な種類を管理者が設定し、作成者がその中から選択できること。	2		
4-60	チェック・管理機能要件	全てのテンプレートにおいて、HTMLで使用する言語及び文字コードの宣言が自動的に設定されること。	10		
4-61	チェック・管理機能要件	閲覧者が画面を印刷する際に、レイアウトが崩れることなく印刷できること。	6		
4-62	チェック・管理機能要件	「このページを見た人はこんなページも見ています」といった、関連性の高いページへのリンクを表示できること。	10		
4-63	チェック・管理機能要件	全てのページに共通して「ページトップに戻る」、「トップページに戻る」等のリンクを設定し、統一された所定の位置にリンクボタンを表示できること。	10		
4-64	チェック・管理機能要件	管理者が選択した情報をトピックスとしてトップページに表示できること。また、トピックスの表示件数を変更できること。	6		
4-65	チェック・管理機能要件	アクセス解析結果をもとに、リンク付きのアクセスランキングを自動生成・表示できること。	2		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
4-66	チェック・管理機能要件	管理者がアクセスランキングの表示を変更できること。	2		
4-67	チェック・管理機能要件	管理者がカテゴリの登録・更新・削除ができること。作成者・承認者がそれを行えないこと。	10		
4-68	チェック・管理機能要件	カテゴリが反映されたローカルナビゲーションが自動で生成されること。	10		
4-69	チェック・管理機能要件	パンくずリストが自動で生成されること。	10		
4-70	チェック・管理機能要件	新着情報をトップページ以外にも表示できること。	9		
4-71	チェック・管理機能要件	カテゴリ配下のページを一覧表示させ、優先順位を管理できること。	6		
4-72	チェック・管理機能要件	下層にページがないカテゴリについては、自動的に非表示となること。	5		
4-73	チェック・管理機能要件	カテゴリページ内のインデックスリストの表示上限件数を管理者が設定できること。また、上限を超えたインデックスリストの表示に展開ボタンなどの処理が行えること。	3		
4-74	チェック・管理機能要件	浮遊コンテンツの検出機能があること。	3		
4-75	チェック・管理機能要件	任意の期間更新がないコンテンツのリストをCSVファイル等でエクスポートできること。	9		
4-76	チェック・管理機能要件	一定の期間更新がないコンテンツがある場合、作成者に通知されること。	2		
4-77	チェック・管理機能要件	ページにはグローバルナビゲーション、パンくずリスト、タイトル情報、各課・系の連絡先等が配置されること。	10		
4-78	チェック・管理機能要件	サイトマップ（利用者向けに表示するページ）が自動生成されること。	9		
4-79	チェック・管理機能要件	自動生成されたサイトマップ（利用者向けに表示するページ）を編集できること。	3		
4-80	チェック・管理機能要件	外部の検索エンジン向けのサイトマップファイルを作成し、自動で最新化される仕組みを提供できること。	6		
4-81	チェック・管理機能要件	管理者がカテゴリを追加・変更・削除できること。なお、変更した内容はサイトマップ、ローカルナビゲーション、パンくずリストに自動的に反映されること。	10		
4-82	チェック・管理機能要件	ページ公開時にサイトマップ、指定したカテゴリインデックス、ローカルナビゲーション、パンくずリストに、ページタイトルをリンク名としたリンクを自動生成し、公開終了時には、それらが自動的に削除されること。	10		
4-83	チェック・管理機能要件	ログイン画面上に管理者が作成者及び承認者へ注意等を促すためのお知らせ機能を有すること。	9		
4-84	チェック・管理機能要件	CMSから操作マニュアルを表示できること。	7		
4-85	チェック・管理機能要件	配信先のWebサーバが複数台であっても同時に配信可能なこと。	7		
4-86	チェック・管理機能要件	異なるドメインへの公開ができること（ドメイン・サブドメイン5ドメイン以上）。	2		
4-87	チェック・管理機能要件	コンテンツはFTPSやSFTP等の暗号化された通信プロトコルを利用してアップロードされること。	必須		
4-88	チェック・管理機能要件	管理者がユーザーの登録・更新・削除ができること。	10		
4-89	チェック・管理機能要件	管理者がユーザーごとに様々な権限を設定できること。	9		
4-90	チェック・管理機能要件	管理者が、コンテンツ管理の割り振り、権限設定、ユーザーID・パスワードの付与等ができること。また、CSVファイル等をインポートすることで、一括編集できること。	10		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
4-91	チェック・管理機能要件	組織改正による組織情報と作成者、承認者IDの関連付けの変更について、管理者がCSVファイル等をインポートすることにより一括設定できること。	10		
4-92	チェック・管理機能要件	原則としてHTMLは直接編集できないこととし、権限の与えられた作成者のみが編集可能とするよう設定できること。	8		
4-93	チェック・管理機能要件	作成者・承認者のログイン履歴を集計できること。また、ログインしている者を強制的にログアウトできること。	2		
4-94	チェック・管理機能要件	管理者2名以上、作成者、承認者ともに140名以上のユーザーを設定できること。	9		
4-95	チェック・管理機能要件	管理者が全てのコンテンツを変更できること。	10		
4-96	チェック・管理機能要件	管理者がコンテンツごとまたはフォルダごとにカテゴリを移動できること。	6		
4-97	チェック・管理機能要件	管理者が組織改正情報やコンテンツ移動先を事前に予約設定できること。	8		
4-98	チェック・管理機能要件	管理者がユーザー情報、組織情報、作成者・承認者による全てのコンテンツの操作履歴等についてそれぞれ一覧表示し、状況の確認ができること。また、そのデータをCSVファイル等でエクスポートできること。	8		
4-99	チェック・管理機能要件	管理者及び作成者がコンテンツ全体（特設サイトを含む）を様々な検索条件で検索できること。	10		
4-100	チェック・管理機能要件	管理者及び作成者がコンテンツの検索結果をCSVファイル等でエクスポートできること。	6		
4-101	チェック・管理機能要件	管理者及び作成者が作成済みのページをページタイトルによって検索できること。	10		
4-102	チェック・管理機能要件	管理者及び作成者がコンテンツの配信履歴をCSVファイル等でエクスポートできること。また、配信履歴をユーザー、公開時間などの検索条件で検索できること。	6		
4-103	チェック・管理機能要件	外部リンクを含むページについて作成者、URLなどのデータを含んだリストをCSVファイル等でエクスポートできること。	5		
4-104	チェック・管理機能要件	削除したコンテンツは一定期間CMSサーバ内に保存されること。	4		
4-105	チェック・管理機能要件	HTMLファイルを取り込むことで、一括でページ作成できること。	9		
4-106	チェック・管理機能要件	HTMLファイルの取り込みによって作成したページであっても、CMSから編集、削除ができること。	10		
4-107	チェック・管理機能要件	CSVファイルを取り込むことで、一括でページ作成できること。	6		
4-108	チェック・管理機能要件	CSVファイルの取り込みによって作成したページであっても、CMSから編集、削除ができること。	6		
4-109	チェック・管理機能要件	同一コンテンツを同時に編集できないようにすること。	2		
4-110	チェック・管理機能要件	作成者アカウントなど複数ユーザーが同時にアクセスすることが想定されるアカウントは同時に作業を行うことが出来るように設定すること。	必須		
4-111	チェック・管理機能要件	サイト内外へのリンク切れを検出する機能があること。	10		
4-112	チェック・管理機能要件	リンク切れコンテンツのリストがCSVファイル等でエクスポートできること。	6		
4-113	チェック・管理機能要件	管理者がアクセスログを本市外部閲覧者と本市内部ネットワークからの閲覧者のアクセスを区別した上で、日別・月別等で確認し、解析できること。また、解析結果のデータはCSVファイル等でエクスポートできること。	8		
4-114	チェック・管理機能要件	閲覧者の利用端末種別（PC・スマートフォン等）が集計できること。	6		
4-115	チェック・管理機能要件	管理者がバナー広告のクリック数を日毎に確認し、解析できること、また、解析結果のデータはCSVファイル等でエクスポートできること。	6		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
4-116	チェック・管理機能要件	トップページはHTMLやCSSの知識がある職員（管理者）が、デザインの軽微な修正ができること。	6		
4-117	チェック・管理機能要件	管理者は各課作成者が作成したページを1ページ毎に一時的に専有し、作成者・承認者が編集できない状態とすることができること。	6		
5-1	付加機能要件	フリーワード検索（全文検索）絞り込みand/or等の検索機能を有し、サイト内及び別ドメインの本市関連サイト内の検索ができること。広告表示等が出るものやテンプレート内に表示できないものは不可とする。	必須		
5-2	付加機能要件	検索結果には、HTMLのタイトル・キーワードが含まれる本文の一部・URLを表示されること。	必須		
5-3	付加機能要件	HTMLだけではなく、PDF・Word・EXCELファイル等も検索対象となること。	10		
5-4	付加機能要件	検索条件を複数設定できること（全体検索・部門検索など）。	6		
5-5	付加機能要件	検索結果を表示するページはサイト内の他のページと同様のヘッダー及びフッターが表示されること。	6		
5-6	付加機能要件	類義語として登録していない単語であってもあいまい検索ができること。	10		
5-7	付加機能要件	検索結果をカテゴリ等に区分して表示できること。	3		
5-8	付加機能要件	検索エンジンは多言語に対応していること。	6		
5-9	付加機能要件	検索エンジンのクロール頻度は24時間に1回以上とすること。	6		
5-10	付加機能要件	検索結果に生成AIによる補足回答をつけること。	6		
5-11	付加機能要件	検索ログが取得可能であること	6		
5-12	付加機能要件	特定のキーワードが入力されたときに、特定のページを上位表示することが可能であること。またその期間が指定可能であること	4		
5-13	付加機能要件	検索窓・検索結果ページに、独自のデザインが設定可能であること	2		
5-14	付加機能要件	市が指定する位置に、自動翻訳ページへのボタンを配置すること。なお、リンクボタンは英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語をそれぞれの言語に翻訳した文字表記とすること（例：英語→English）。	必須		
5-15	付加機能要件	管理者がRSS配信するページを設定・追加・削除できること。	必須		
5-16	付加機能要件	3ヶ国語（英語・中国語・韓国語）の自動翻訳ができること。	必須		
5-17	付加機能要件	誤訳防止のため、固有名詞の単語登録が言語ごとに可能であること	6		
5-18	付加機能要件	緊急時・災害発生時などにおいて、トップページ及び任意のページにJアラート又は防災行政無線の内容を自動で表示できること。	10		
5-19	付加機能要件	管理者又は特定の作成者において、緊急・災害情報をトップページに表示できること。	10		
5-20	付加機能要件	災害等の緊急時に、トップページの目立つ位置に災害情報を配信できること。	10		
5-21	付加機能要件	災害等の緊急時に、記事ページへ重要なお知らせを表示する機能を有すること。	6		
5-22	付加機能要件	市が指定する位置に、バナー広告を14枠以上表示できること。また、管理者がバナー広告の表示数を変更できること。	6		
5-23	付加機能要件	バナー広告の掲載期間を登録することにより、自動的に掲載が開始・終了すること。	5		
5-24	付加機能要件	バナー広告の掲載順序は、自動かつランダムに入れ替えできること。	1		
5-25	付加機能要件	テスト環境を用意すること。このテスト環境は6か月に1度程度本番環境と同期し、本番環境と同等の表示が可能なものとする。ただし閲覧ページはログインした職員のみが表示できるものとする。	6		
5-26	付加機能要件	手続きナビの実装にあたっては、標準的な自治体手続き一覧資料を提出するなど、構築に必要な全庁調査の補助を行うこと。	10		
5-27	付加機能要件	手続きナビはCSVのエクスポート及びインポートにより管理者が更新できること。	6		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
5-28	付加機能要件	手続きナビで最終的に表示される案内情報は各課職員がCMS上で編集管理できること。	6		
5-29	付加機能要件	ページ下部に簡易アンケートを設置する機能があること。また、アンケート結果を各担当課が管理、分析する機能を提供すること。	6		
5-30	付加機能要件	ページ作成時に日時を指定することで、イベントカレンダーへ自動的に掲載される機能があること。	6		
5-31	付加機能要件	問い合わせフォーム及び利用者が意見を投稿できるフォームを設置できること。	10		
5-32	付加機能要件	3-43を行う場合等、Cookieを使用する必要がある場合は、Cookieの使用について同意を求める表示を出すことができること。また表示を出さないことも選択できること。	6		
5-33	付加機能要件	利用者に特定ページが更新されたことをメールやSNSなどで通知する機能を有すること。もしくは同様の機能を有するブラウザの拡張機能を補助する仕組みがあること	3		
5-34	付加機能要件	キッズページにゲーム等を通して、教育効果のあるツールを提供すること 例：タイピングゲーム、市政、市の特産や遊び場所に関するクイズ、消防局のVR見学	6		
5-35	付加機能要件	ページタイトルの下にページ内検索機能を配置すること（ブラウザのctrl+Fのような機能）	8		
6-1	WCAG2.2要件 (全ページ)	各ページのコンテンツは表示、操作が縦横両方に対応していることを確認し、対応していない場合は修正すること。	10		
6-2	WCAG2.2要件 (全ページ)	入力フィールドの入力目的はプログラムによって解釈が出来るようinput typeなどが適切に設定されていることを確認し、設定されていない場合は設定すること	10		
6-3	WCAG2.2要件 (全ページ)	コンテンツの種別（ヘッダー、フッター、メインなど）をプログラムが判別出来るように設定すること（例：Ariaランドマークとmicrodataを使用する。）	6		
6-4	WCAG2.2要件 (全ページ)	非テキストコンテンツについては隣接する色と少なくとも3:1以上のコントラスト比が確保されていることを確認し、確保されていない場合は発注者に該当箇所を報告の上、発注者が用意した非テキストコンテンツに差替えを行うこと	10		
6-5	WCAG2.2要件 (全ページ)	テキストコンテンツは、以下をすべて設定し、かつ他のスタイルプロパティを変更しない状態でもコンテンツ又は機能の損失が生じないことを確認し、問題がある場合は修正すること ・行の間隔（行送り）をフォントサイズの少なくとも1.5倍に設定する ・段落に続く間隔をフォントサイズの少なくとも2倍に設定する ・文字の間隔（字送り）をフォントサイズの少なくとも0.12倍に設定する ・単語の間隔をフォントサイズの少なくとも0.16倍に設定する	10		
6-6	WCAG2.2要件 (全ページ)	ホバー（マウスオーバー）時、またはキーボードフォーカス時に表示されるコンテンツは以下の条件を全て満たしていることを確認し、満たしていない場合は修正すること ・ホバーやフォーカスを動かさなくても非表示にできる。 ※入力エラーメッセージや他のコンテンツを阻害せず表示される場合を除く ・移動可能 ・勝手に非表示にならないこと（以下の場合を除く、①ホバー、フォーカスが解除、②利用者側が非表示化、③情報が有効ではなくなった）	10		
6-7	WCAG2.2要件 (全ページ)	コンテンツにキーボードショートカットが実装されている場合は以下のいずれかの対応がされていること ・ショートカットキーの解除 ・1つ以上の非印字文字（ctrlやalt）を使用するようにショートカットを再割り当て出来ること ・フォーカス時のみ有効になるように設定されていること	10		
6-8	WCAG2.2要件 (全ページ)	アニメーションについては利用者側が停止、無効化できること	8		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
6-9	WCAG2.2要件 (全ページ)	各コンテンツは軌道ベースの操作なしのシングルポインタで操作できること	10		
6-10	WCAG2.2要件 (全ページ)	シングルポインタを使って操作できる機能は、以下の要件の少なくとも一つを満たす。 ・ダウンイベント（マウスのボタンやスマホの画面をタッチ、押し続けている状態）を要さない。 ・完了前の中止、完了後の元に戻す機能がある。 ・アップイベント（ダウンイベントの逆。ボタン、タッチを離す）はダウンイベントの結果を反転出来る。（例：ドラッグした画像などがタッチを離れた際に元の位置に戻るなど） ・ダウンイベントで機能が完了すること (注) キーボード又はテンキーパッドのキープレスをエミュレートする機能は必要不可欠とみなされる。	10		
6-11	WCAG2.2要件 (全ページ)	Web上に実際に表示されるテキストがソース上のラベルに含まれること。 スクリーンリーダーや音声入力での利用にも影響する。 【例】 × ラベルとテキストが不一致 <button aria-label="Find in this site">Go</button> ○ テキストがラベルに含まれる。（例は完全一致） <button aria-label="Go">Go</button>	10		
6-12	WCAG2.2要件 (全ページ)	動きによる操作（例：デバイスを振る、傾ける）は通常の操作（キーボード、マウス、タップ等）でも同じ操作が出来るようにするかつ、無効化できる。 【例外】 ・サポートされたインターフェースで操作が可能なレベルであること（ブラウザや端末の機能でサポート可能なレベルであること） ・動作が必須である場合	10		
6-13	WCAG2.2要件 (全ページ)	利用可能な入力方法の仕様を制限しないこと (例：スマホ端末で外付けマウスやキーボードの入力を制限しない) 【例外】 ・制限が必須である場合 ・セキュリティの確保に必要である場合 ・ユーザー設定を尊重するために必要である場合	6		
6-14	WCAG2.2要件 (全ページ)	マークアップ言語を使って実装されたコンテンツでは、ステータスメッセージは、役割 (role) 又はプロパティを通してプログラムによる解釈が可能であり、フォーカスを受けとらなくても支援技術によって利用者に提示することができること	10		
6-15	WCAG2.2要件 (全ページ)	キーボードフォーカス時にフォーカスされたコンテンツが全て見えること	10		
6-16	WCAG2.2要件 (全ページ)	キーボードフォーカス時にインジケータは以下の条件を満たすこと ①大きさ：外周より大きく、2 CSSピクセル以上の太さ（※1ピクセルは約0.26mm） ②コントラスト：フォーカス時と非フォーカス時でコントラスト比が最低でも3:1以上 【例外】 ・インジケータはUAによって制限され、調整が出来ない場合 ・インジケータとインジケータの背景色を変更できない場合	10		
6-17	WCAG2.2要件 (全ページ)	各コンテンツがドラッグ操作を要する場合は代替の機能を用意すること	6		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
6-18	WCAG2.2要件 (全ページ)	各コンテンツの入力エリア（ボタンや入力欄、チェックボックスなど）については誤操作を防ぐために各ボタン等は最低限のサイズ以上の大きさにすること。また、十分な間隔を空けること。 ポインタ入力のターゲットサイズは例外を除き、24×24CSSピクセル以上にする。 【例外】 以下の場合には上記の達成基準を満たさない場合でも認められる。 ・他ターゲットと十分な間隔を空けている ・同じページ上で達成基準を満たす同等の機能が存在する ・ターゲットがテキストリンクの場合、あるいはターゲット以外のテキストの行の高さによって制約を受ける ・UA側の制約を受けて、サイズ変更が出来ない ・特定の表示が必須、もしくは法的にサイズが定められている (注)細かい値を持つスライダーなど、位置によって値が変わるターゲットは1つのターゲットとみなされます。 (注)インラインターゲットについて、行の高さは横向きにテキストを読む場合、縦幅、縦に読む場合は横幅と解釈する。	6		
6-19	WCAG2.2要件 (全ページ)	以下のようなヘルプに関する情報は一貫した配置（例：ヘッダー、ページ最下部など）をする ・対人の連絡先情報：利用者が直接連絡を取ることが出来る連絡先（電話番号、メールなど） ・対人の連絡システム：問合せフォームやヘルプチャットなど ・自己支援ツール：FAQや操作方法の解説ページなど ・完全自動の連絡システム：AIチャットボットなど	10		
6-20	WCAG2.2要件 (全ページ)	以前に入力した情報は自動入力もしくは選択式で入力できるようにする。 ※ブラウザのオートコンプリート機能では十分ではない。 (例：ドロップダウンを含むフィールドを選択して入力、☑を入れると自動入力（請求先と発送先住所が同じ）など） ※セッションを閉じた後は適用されない。 【例外】 ・情報の再入力が必要である。 ・セキュリティ確保のため必要である。 ・以前入力した情報が無効になった。	2		
6-21	WCAG2.2要件 (全ページ)	認知機能テストを行う（行わない場合、対応不要）場合は以下の条件のどちらか1つを満たす必要がある。 ①代替手段が用意されている。 ②利用者が認知機能テストを完了できるようサポートする機構が用意されている (注)②はコピーペーストやパスワードマネージャーからの入力を受け入れるようにする機構など。	2		
6-22	WCAG2.2要件 (全ページ)	(上記が不可能である場合) 認知機能テストを行う場合は以下の条件のどれか1つを満たす必要がある。 ①代替手段が用意されている。 ②利用者が認知機能テストを完了できるようサポートする機構が用意されている ③物体（オブジェクト）を認識するテストである ※CAPTCHAなどで「自転車」を選ぶなど ④利用者がアップロードしたコンテンツを選択させるテストである (注)③④は画像、ビデオ、オーディオの形式 (注)②はコピーペーストやパスワードマネージャーからの入力を受け入れるようにする機構など。 また、入力時に文字を隠す機能があるが、オプションでパスワードを表示する機能を提供することで成功率は高まる。	6		
7-1	会議録要件	検索語が複数入力可能でand検索（2つ以上の検索値を同時に満たす結果を検索する方法）及びor検索（2つ以上の検索値のいずれか1つを満たす結果を検索する方法）ができること	3		
7-2	会議録要件	検索する際に、発言者の種別選択、検索対象の会議（本会議or委員会）選択ができること	3		
7-3	会議録要件	検索結果の表示順の指定、検索期間の指定ができること	3		

1	区分	要件	重要度	対応可否 (○、△、×)	備考
7-4	会議録要件	記号等の無視を含む、同義語、類義語検索（例：「小中学校」と検索し、「小・中学校」や「小、中学校」等が該当する）ができること	1		
7-5	会議録要件	会議録のページにおいて、検索に該当する語を前後に移動できること	3		
7-6	会議録要件	記号等の無視を含む、同義語、類義語検索（例：「小中学校」と検索し、「小・中学校」や「小、中学校」等が該当する）ができること	1		
7-7	会議録要件	会議録のページにおいて、検索に該当する語を前後に移動できること	1		
7-8	会議録要件	会議録検索システムのページから、市議会の各ページに移動できること	1		
7-9	会議録要件	会議録のページにおいて、ページを発言毎に区切らず1つのページで1日の会議の全ページを閲覧できること	1		
7-10	会議録要件	L G W A N環境で閲覧できること	1		
7-11	会議録要件	会議録のページにおいて、検索に該当した語が、網掛けで強調表示されること	1		
7-12	会議録要件	検索結果の一覧において、発言者及び検索ヒットした語の前後がプレビュー表示されること	1		
7-13	会議録要件	閲覧機器のブラウザバックで、エラーにならないこと	1		
7-14	会議録要件	会議録を追加・修正する際は、Microsoft Word形式のファイルを事業者に提出することまたは、職員が管理画面において会議内容のテキストデータを貼り付けることにより作業が完了し、容易に更新できること	3		